

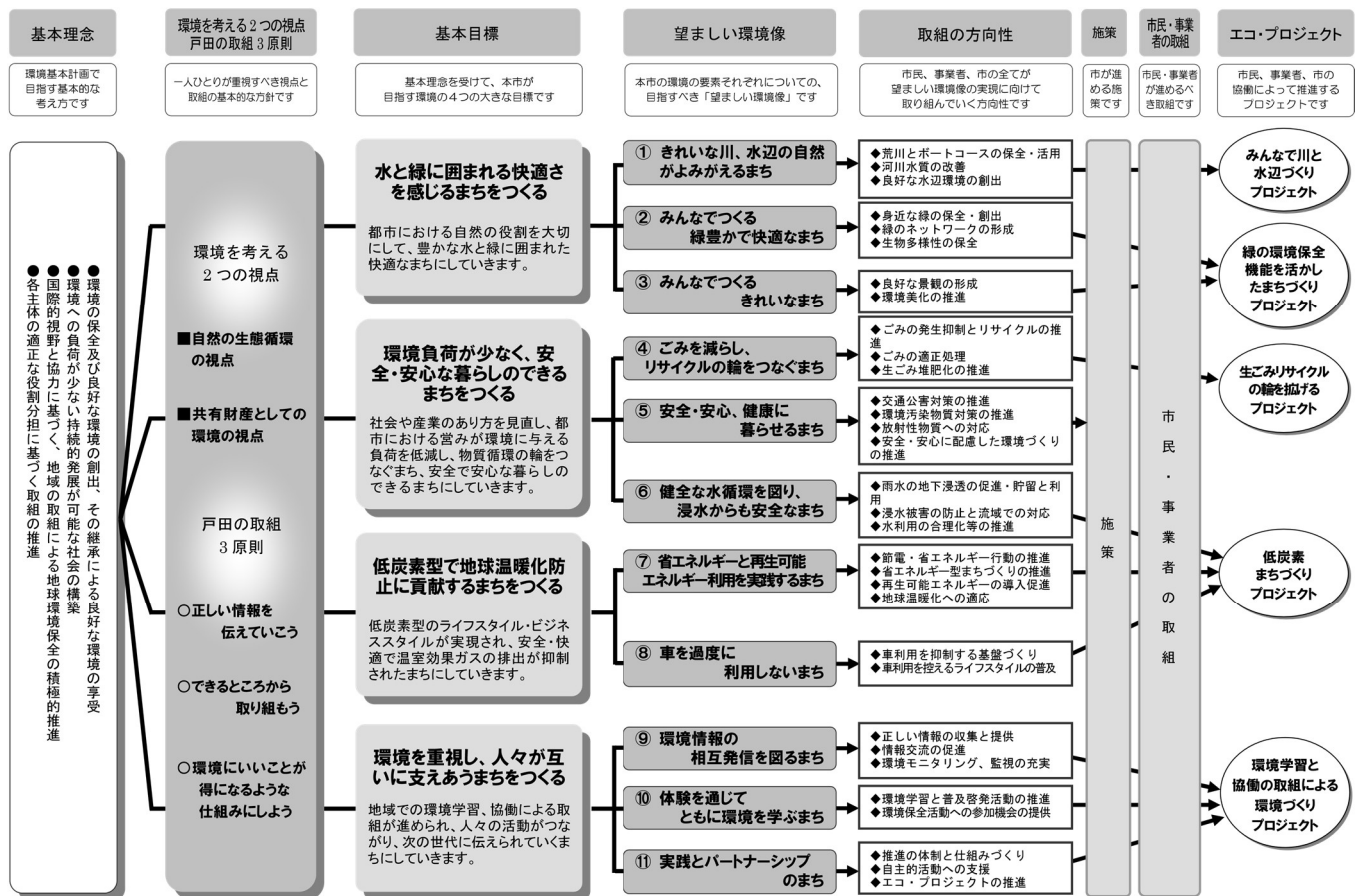
戸田市環境基本計画の計画体系の見直しについて

1 計画体系の見直しの考え方

2020（令和2）年度をもって、現行の戸田市環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が計画期間を終えることから、次期の計画に向けて計画体系を見直し、新たな計画体系を作成します。

(1) 現行計画の計画体系

現行計画の体系は次の通りです。



戸田市環境基本条例に定める基本理念を最上位として、環境を考える2つの視点・戸田の取組3原則、基本目標、望ましい環境像までの構想的な部分が4段階で構成され、望ましい環境像ごとに現状と課題をまとめています。

さらに、望ましい環境像の下に取組の方向性を示し、その先に施策と事業（当面実施予定）を位置付けられる構成としています。

また、市内全域にわたる協働による環境保全活動を拡大・展開するものとして、5つのエコプロジェクトを設定しています。

(2) 計画体系の課題と見直し方針

現行計画を振り返って、次のように見直しを行います。

計画体系の改善点	見直し方針
全体のバランスとして、実効的な部分に至るまでの構想の部分が比較的大きく、説明が複雑な傾向にある。	ビジョンや構想の部分をシンプルにして、具体的な方向性にたどりつきやすい構成とする。
基本目標は環境の要素それぞれについての目指すべき姿、望ましい環境像は「まち」や「ひと」のあり方を表す姿と説明されているが、深く読み込まないとわかりにくいと感じられる。	シンプルな将来像の下に基本目標や基本方針を示す体系とする。
取組の方向性に付随する施策とエコプロジェクトにおいて重複する部分が多いことから、進捗管理に必要以上の事務が生じていた。	管理の主となる主要な施策・事業を、プロジェクト化して端的にまとめることで、わかりやすく実効性のある進捗管理を図る。全体の計画体系では、環境政策分野ごとに方向性のレベルで留める。
環境問題や計画対象の幅広さに対して、市の環境部署が目配り、具体化できる範囲に限界があり、進捗管理に難しさがあった。	一定の範囲で主要施策のプロジェクトと指標を設けることで、対象事業の推進と進捗管理の実効性を確保する。

2 計画体系の項目間の対応

現行計画体系と新たな計画体系案との対応を示します。

